

# 船舶事故等調査報告書（軽微）

1 船舶事故 計 53 件

2 船舶インシデント 計 17 件

合 計 70 件

平成21年7月31日

運輸安全委員会

# 船舶事故等調査報告書（軽微）一覧

- (函館事務所)
- 1 貨物船清海丸火災
  - 2 貨物船鳳晴丸衝突（岸壁）
  - 3 引船ともえ乗揚
- (仙台事務所)
- 4 旅客船びなす衝突（桟橋）
  - 5 貨物船第八芙蓉丸衝突（岸壁）
  - 6 貨物船第十一にちあす丸漁船弥生丸衝突
- (横浜事務所)
- 7 貨物船第五拾五宝来丸乗揚
  - 8 貨物船第五拾五宝来丸運航阻害
  - 9 貨物船第十一 八幡丸乗揚
  - 10 モーターボートディバ ウイング定位網損傷
  - 11 貨物船智勝丸運航阻害
  - 12 漁船桂丸運航不能（機関損傷）
  - 13 貨物船第五拾五宝来丸乗揚
  - 14 油送船星春丸運航不能（機関損傷）
  - 15 貨物船高洲川丸衝突（岸壁）
  - 16 モーターボート綿津美丸乗揚
  - 17 旅客船第二十五鳥羽丸運航不能（機関損傷）
  - 18 油送船近帥丸運航不能（機関損傷）
  - 19 作業船拓海モーターボート法丸衝突
  - 20 モーターボートエキサイター I 座洲
  - 21 ケミカルタンカー雄豊丸引船ちこ  
う引船列衝突
- (神戸事務所)
- 22 水上オートバイもうブイなんて言  
わせないゼッタイ！水上オートバ  
イクラフト衝突
  - 23 漁船第十八事代丸座洲
  - 24 貨物船喜昇丸乗揚
  - 25 引船第三明祐丸引船列衝突（消波  
ブロック）
  - 26 貨物船 HOEGH DETROIT 水先船べい  
ぱいろっと 5 衝突
  - 27 油送船第十二昌和丸座洲
  - 28 油送船第八青鷹乗揚
  - 29 貨物船第二十八中野丸乗揚
  - 30 水先船べいぱいろっと 2 衝突（防  
波堤）
  - 31 貨物船第八住力丸乗揚
  - 32 貨物船第四拾八盛栄丸乗揚
  - 33 貨物船第参拾宝来丸乗揚
  - 34 漁船仁洋丸運航阻害
  - 35 貨物船第一いく丸衝突（桟橋）
  - 36 貨物船幸洋丸衝突（灯浮標）
  - 37 貨物船第二 八幡丸乗揚
  - 38 貨物船第十五栄福丸乗揚
  - 39 貨物船第六神通丸乗揚
- (広島事務所)
- 40 押船第二十八栄伸丸被押起重機船  
第二十八栄伸号損傷（かき養殖施  
設）
  - 41 貨物船航安丸乗揚
  - 42 遊漁船俊英丸運航不能（機関損  
傷）
  - 43 貨物船大照丸貨物船安芸嶋衝突
  - 44 貨物船新若豊丸乗揚
  - 45 引船うつみ引船列衝突（岸壁）

※下線付き番号は、インシデント

- 46 旅客船いそかぜⅡ衝突（護岸）
- 47 旅客船ひかり運航阻害
- 48 引船新興丸引船海興丸衝突
- 49 巡視艇いまかぜ損傷（のり養殖施設）

**(門司事務所)**

- 50 漁船海祐丸火災
- 51 貨物船愛宕丸運航阻害
- 52 漁船第八十八伊豫丸運航阻害
- 53 漁船第八十八安栄丸乗揚
- 54 旅客船フェリーふく彦運航不能（機関損傷）
- 55 旅客船ヴィーナス2油送船第十八漁連丸衝突
- 56 貨物船 DUCKY SAPPHIRE 漁船三号旭丸衝突
- 57 貨物船第一大成丸乗揚
- 58 貨物船伸和丸漁船第三十五正章丸衝突
- 59 旅客船あけぼの3乗揚
- 60 油送船第二天正丸衝突（灯浮標）

**(長崎事務所)**

- 61 砂利採取運搬船正輝丸乗揚
- 62 旅客船マルベージャ3衝突（岸壁）
- 63 貨物船第十六旭丸座洲
- 64 貨物船第十八金栄丸乗揚
- 65 押船第十八こがね丸被押バージ山勝号乗揚
- 66 引船葉港丸運航不能（機関損傷）

**(那覇事務所)**

- 67 引船第18明祥丸乗揚
- 68 引船第18明祥丸衝突（岸壁）
- 69 漁業取締船はやて乗揚
- 70 ヨット NICHKA 乗揚

※下線付き番号は、インシデント

## 船舶事故等調査報告書

平成21年6月25日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

|              |  |  |  |
|--------------|--|--|--|
| 事故等番号        | 2008横第114号   |  |  |
| 事故等名         | 貨物船第五拾五宝来丸乗揚   |  |  |
| 発生年月日時刻      | 平成20年2月22日20時00分ごろ   |  |  |
| 発生場所         | 三重県賀田港石材積み場  |  |  |
| 事故等調査の経過     | 調査の概要: 平成20年12月8日横浜・地方事故調査官が海難報告書を入手、平成21年1月27日船舶所有者から海難工事見積書を入手<br>原因関係者からの意見聴取: 意見なし           |  |  |
| 事実情報         |  |  |  |
| 船種・船名・総トン数   | 貨物船 第五拾五宝来丸 496トン  |  |  |
| 船舶番号(IMO 番号) | 131889   |  |  |
| 船舶所有者等       | 小林海運有限会社   |  |  |
| 船種・船名・総トン数   |  |  |  |
| 船舶番号(IMO 番号) |  |  |  |
| 船舶所有者等       |  |  |  |
| 乗組員等に関する情報   | 船長 五級海技士(航海)   |  |  |
| 負傷者          | なし   |  |  |
| 損傷           | 船底に擦過傷   |  |  |
| 事故等の経過       | 本船は、空船で賀田港石材積み場に着岸操船中、平成20年2月22日20時00分ごろ、船底に衝撃を感じた。<br>当時の天気は曇りで、風速約2.5m/s の西風が吹き、潮候は下げ潮の初期であった。 |  |  |
| 分析           | 気象・海象の関与<br>乗組員等の関与<br>船体・機関等の関与<br>判明した事項の解析  | なし<br>なし<br>なし<br>本船は、空船状態で、着岸場所の水深は4m以上あり、海象は平穏であったと考えられることから、着岸操船中、不測の沈殿物等に接触した可能性があるものと考えられる。 |  |
| 原因           | 本事故は、夜間、本船が着岸操船中、不測の沈殿物等に船底が接触したため、発生した可能性があると考えられる。   |  |  |
| その他の事項       | なし   |  |  |